

第21回中央非常通信協議会表彰被表彰者

(順不同、敬称略)

	部門	被表彰者	功績の概要
臨時災害放送局 (3個人、13団体)	個人	松木 達徳	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	個人	高橋 厚	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	個人	三浦 純一	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	みやこコミュニティ放送研究会	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	奥州エフエム放送株式会社	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	株式会社エフエム岩手	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	株式会社登米コミュニティエフエム	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。

第21回中央非常通信協議会表彰被表彰者

(順不同、敬称略)

	部門	被表彰者	功績の概要
臨時災害放送局 (3個人、13団体)	団体	特定非営利活動法人 エフエムわいわい	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	FMながおか(長岡移動電話システム株式会社)	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	特定非営利活動法人 BHNテレコム支援協議会	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	特定非営利活動法人 陸前高田市支援連絡協議会 Aid TAKATA	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	FMあおぞら	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	人と防災未来センター	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	流通科学大学 RYUKA被災地復興サポートチーム	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	特定非営利活動法人 京都コミュニティ放送	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。
	団体	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター	東日本大震災において、臨時災害用FM放送局の開局・運用に多大な貢献をし、最新の災害情報や支援情報の被災者への提供に資することにより、未曾有の大災害時における地域住民の安心、安全に大きく寄与した。

第21回中央非常通信協議会表彰被表彰者

(順不同、敬称略)

	部門	被表彰者	功績の概要
自営系無線 (漁業無線) (5団体)	団体	釜石無線漁業協同組合 (岩手県釜石漁業用海岸局)	東日本大震災において、多くの東北地方海岸局が運用停止する中、漁業無線による非常通信協力要請を行い、青森県八戸、茨城県水産試験場、千葉県水産情報通信センター、宮崎県油津の漁業無線局と非常通信を行うことにより、県等へ海岸側の被災状況を報告し、人命の救助・安全確保に多大な貢献をした。
	団体	青森県無線利用漁業協同組合 (青森県八戸漁業用海岸局)	東日本大震災において、多くの東北地方海岸局が運用停止する中、釜石漁業無線局からの非常通信を岩手県庁へ中継するなど、人命の救助・安全確保に多大な貢献をした。
	団体	茨城県無線漁業協同組合 (茨城県水産試験場漁業無線局)	東日本大震災において、多くの東北地方海岸局が運用停止する中、釜石漁業無線局からの非常通信を岩手県庁へ中継するなど、人命の救助・安全確保に多大な貢献をした。
	団体	千葉県無線漁業協同組合 (千葉県水産情報通信センター)	東日本大震災において、多くの東北地方海岸局が運用停止する中、釜石漁業無線局からの非常通信を岩手県庁へ中継するなど、人命の救助・安全確保に多大な貢献をした。
	団体	宮崎県無線漁業協同組合連合会 (宮崎県油津漁業無線局)	東日本大震災において、多くの東北地方海岸局が運用停止する中、釜石漁業無線局からの非常通信を岩手県庁へ中継するなど、人命の救助・安全確保に多大な貢献をした。
アマチュア無線 (1個人、1団体)	個人	岡崎 宣夫	東日本大震災の直後から、各地の被災者への医療活動を行うため、臨時のレピータ局を設置・運営して岩手県沿岸南部と内陸部の通信を確保した。さらに勤務先の協力を得て、自身の勤務する病院内に「ひがしやま無線ボランティアセンター」を開設し、同氏の活動に賛同し集まったアマチュア無線家のボランティアとともに24時間体制で室根山レピータからの電波の聴取・応答にあたった。
	団体	一般社団法人日本アマチュア無線連盟	東日本大震災において、中央非常通信協議会会長から送付された「被災地の通信確保のためのアマチュア局の積極的活用について(要請)」(平成23年3月13日総基重第28号)に基づき、災害時における通信の確保に多大な貢献をした。 また、台風12号においては、日本アマチュア無線連盟三重県支部の登録クラブ局である熊野無線クラブが、いち早く孤立した地域の住民の安否や被害状況をアマチュア無線局を運用して熊野市本庁舎に開設の同クラブ局に状況を伝えるなど、同地区住民の救援活動に多大な貢献をした。

第21回中央非常通信協議会表彰被表彰者

(順不同、敬称略)

	部門	被表彰者	功績の概要
無線機器メーカー等 (13団体)	団体	アイコム株式会社	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	株式会社JVCケンウッド	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	八重洲無線株式会社 (株式会社パーテックススタンダード)	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	モトローラ株式会社	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	アルインコ株式会社	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	田中電気株式会社	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	株式会社デジタス仙台	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	ハイテラ コミュニケーションズ株式会社	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	株式会社NHKアイテック	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	財団法人移動無線センター	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	財団法人日本移動通信システム協会	東日本大震災時に多数の無線機を提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	日本サムスン株式会社	東日本大震災時に多数のタブレットPCを提供し、被災地の救援に寄与した。
	団体	日本電気株式会社 宮崎支店	新燃岳噴火や土石流に対する避難対象地区126世帯に同報系無線機の戸別受信機を無償提供するとともに親機の無償貸与(23年4月から運用継続中)を行い、防災対策に大きく寄与した。